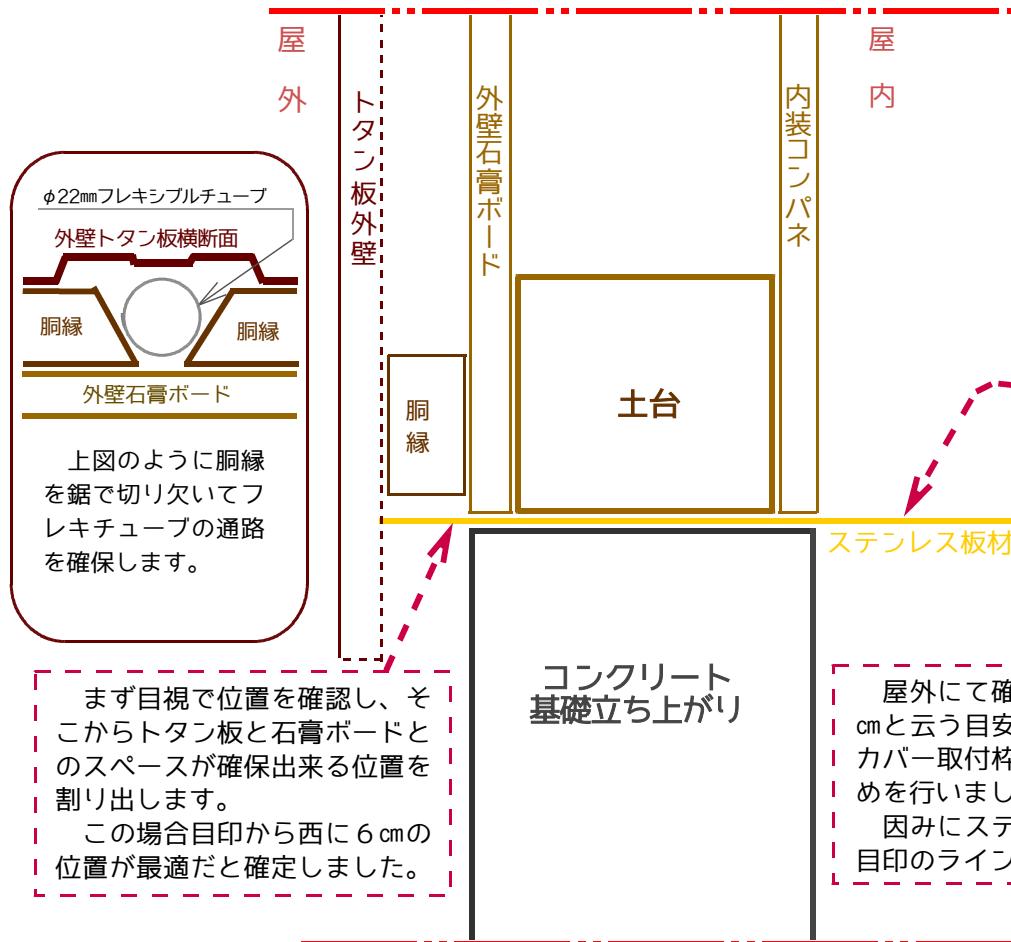


ガレージ内外壁を通してケーブル用φ22mmのフレキシブルチューブを引き入れる為の事前準備作業

ガレージ壁縦断面図



本作業の目的は、外壁材のトタン板裏側のフレキチューブ引き込み位置及びそのスペースを確保すると同時に、屋内内装コンパネに、コスマワイド埋込通線カバー取付枠の装着穴を開ける位置決めを行う上でとても重要な作業となりました。

トタン板外装の下方から内側を通して、ケーブル用フレキチューブを屋内に引き込むのに最適な位置を割り出すため、0.5mm厚のステンレス板材の両面に油性ペンで目印の線を着けて、コンパネ／土台／石膏ボード下辺と、基礎コンクリート立ち上がりとの隙間を突き通してトタン板に届くまで軽く叩き込みました。

続いて屋外からトタン外装と基礎コンクリート立ち上がりの隙間を下から覗き、突き出たステンレス板材の目印から最適位置を割り出し、その直上の洞縁を鋸で切ってフレキチューブの通路を確保しました。

屋外にて確定した目印から西に6cmと云う目安を元に、埋め込み通線カバー取付枠装着穴の最適な位置決めを行いました。

因みにステンレス板材には両面に目印のラインを引いています。